

(小物整理用袋体「KeyP(キープ)」)



こんなことができます!

鍵を収納すると共にその情報も収納できます。

【従来の問題点】

不動産の管理を行う人が複数の鍵を管理する場合、収納する鍵は同じような形状のため、収納する袋体に仕切りを設けて相互移動しないようにしていても、どの鍵を取り出せばよいかわからなかった。袋体が複数になるとさらに混乱していた。

【解決したポイント】

袋体に、鍵を収納する内部の収納部と、関連する情報を収納する外部の収納部とを形成すると共に、複数の袋体をバインダーに綴じ込める綴じ部を同時に形成した。

技術の概要

外部と内部の同じ位置に仕切りを設けたクリアケース「KeyP(キープ)」です。高い辺の2枚のフィルムと低い辺の1枚のフィルムを、下端縁部と左右端縁部を揃えてセットし、それら3辺を熱溶着で閉塞し、さらに下端縁部に平行に底壁用仕切り壁と、左右端縁部と平行に複数の側壁用仕切り壁を熱溶着で形成します。下端縁部と底壁用仕切り壁で綴じ部が形成されます。上端にはファスナーを取り付けます。綴じ部には綴じ込み用穴を開けます。

図・写真



発明者からのメッセージ

不動産管理における鍵の整理のために作成しました。鍵の収納位置に対応した位置に鍵に関する記録として名刺や写真やメモが保管できるため便利です。複数の「KeyP(キープ)」をA5バインダーに綴じ込めることもできます。病院の診察券や処方箋の保管にも使えます。

ライセンス情報

- 1) 開放特許情報DB番号 / L2019002199
- 2) 特許番号 / 特許第5391357号
- 3) 公開番号 / 特開2014-234206
- 4) 出願番号 / 特願2013-116592
- 5) 出願日 / 2013.6.3
- 6) 発明の名称 / 「小物整理用袋体」
- 7) 特許権者 / 株式会社へいわ
- 8) 代表発明者 / 菅原 伸育
- 9) 実施権許諾・譲渡種別 ■許諾 譲渡
- 10) 共同開発・研究の意思 ■有 無
- 11) サンプル提供の予定 ■有 無
- 12) 技術指導の意思 ■有 無
- 13) 実施実績 ■有 試作 実験 無
- 14) 事業化実績 ■有 無
- 15) 実施権許諾実績 有 無

連絡先

- 1) 所属 / 公益財団法人鳥取県産業振興機構
- 2) 担当者名 / 経営支援部 知的所有権センター 特許流通担当
- 3) 電話番号 / 0857-52-6722
- 4) E-mail / chizai@toriton.or.jp